

# 動物園だより

(題字 京都市長 門川大作)

No.151

平成22年1月1日発行

寅年



『ビクトル』

## 迎春



『アオイ』

2010年



みなさん、あけましておめでとうございます！アムールトラの「アオイ」です。私は静岡県生まれ、だもんで関西弁は話せませんが、お隣にいるのは東京都から来た「ビクトル」くんです。

私たちアムールトラは、生息数が減ってきている。動物園には、数の減っている動物たちを守るという使命があって1頭もトラのいなくなった京都で、繁殖を進めるための貸借（ブリーディングローン：BL）で私が静岡からやって来たの。その後、東京からBLでビクトルくんがやって来たんです。

今、私たちは別々の部屋で暮らしています。繁殖が目的なのになぜ？と思った方、私たちトラのことをあんまり知らないんじゃないですか？トラは単独で行動をする動物だから、オスとメスが常に一緒にいるわけじゃないの。じゃ～、いつ一緒にいるかという、私が発情、つまり赤ちゃんを作る準備が整う時期にだけ一緒にいるのが普通なのよ。でも誰とでもいいわけじゃないわ！“相性”ってもんがあるのよ。私はまだ若くて経験も少ないから、東京で3回お父さんになったことのあるビクトルくんとは、様子を見ながら繁殖を目指しているってワケ。それに今年は寅年っていうじゃない！！さらに私たちが注目されるってことよね。

かわいい赤ちゃんをお見せできたらいいんだけど・・・。応援してね！

もちろんトラ以外の動物たちも、今年も多くの皆さんとお目にかかれることを楽しみにしてまーす。皆さんも、動物たちも良い一年となりますように！



### できごと



【10月5日撮影】

### 誕生！

★昨年10月1日ブラジルバクのミノリガオスの赤ちゃんを生みました！  
白い斑点とストライプの模様が特徴の赤ちゃん。およそ1年で模様はなくなり、大人の色に変わります。  
赤ちゃんの模様を見るなら今がチャンス!!

名前が『リオ』になりました！  
仲良くしてね～



★昨年11月8日、命名式が行われました。クイズ大会もあり、大いに盛り上がりました。

### 安らかに

★昨年11月1日、ニシゴリラのゴン(オス推定38歳)が慢性膵炎により死亡しました。札幌市円山動物園から来園し、多くの方々に愛されてきただけにとても残念です・・・



### 新しい仲間

★フォレストパーク神野山から、ヒツジがやってきました。サフォークという品種です。あとどの国で待ってます～



★ヨツユビハリネズミのオスとメスが新しくは虫類館の仲間入りをしました。よろしくね！



### 寄付のお知らせ



ありがとうございました

京都東ライオンズクラブ様からサル島遊具一式を、国際ソロプチミスト京都-わかば様から木製ベンチを寄贈していただきました。

東門出入口開設!!地下鉄蹴上駅から「徒歩5分!!」



# 共汗でつくる新「京都市動物園構想」

## ～近くて楽しい動物園～

京都市動物園は、市民の寄付金と市費によって明治36（1903）年、我が国で2番目に開園した、市民の手により創設された最初の動物園です。開園以来100年以上経過し、施設の老朽化が進み、至急の改修が必要な施設が少なくありません。「種の保存」と「環境教育」、「研究」を実践する動物園にふさわしい施設に整備する時期を迎えています。

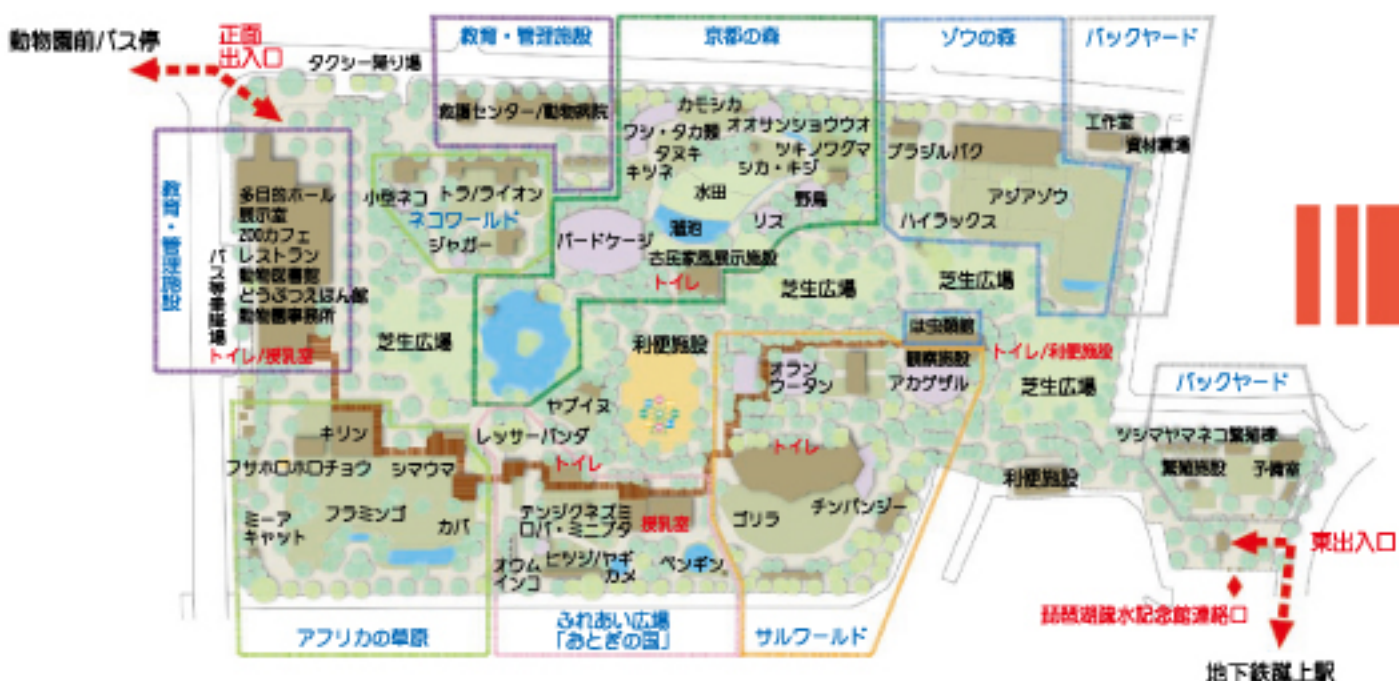
そこで、平成21年1月、共汗でつくる新「京都市動物園構想」案の発表を行い、3月には「動物園大好き市民会議」を設置し、有識者による専門委員会と市民委員によるワークショップ、「親子で語ろう！未来の動物園会議」などで活発な御議論をお願いし、構想を磨き上げていただきました。また、京都市未来まちづくり100人委員会「岡崎ホールディングス」の提言、さらには、パブリックコメントを実施し、多くの市民の皆様御意見等を盛り込み構想を策定致しました。

都心から近くて交通の便が良く、動物がお客様に近い、そして、環境エンリッチメントに取り組むことで、動物たちが幸福に楽しく暮らし、その姿を見るお客様も楽しい動物園、「近くて楽しい動物園」の実現を目指します。新しく変わってゆく動物園に御期待ください。

### 7つのコンセプト

- ①「近く」で動物たちの大きさやにおいを実感し、「いのち」が感じられる動物園 ②全てのの人に優しい動物園 ③環境に優しい動物園  
④楽しく学べる動物園 ⑤安全で安心な動物園 ⑥市民との共汗でつくる動物園 ⑦「食べる楽しみ」、「買う楽しみ」を大切にしたい動物園

### ゾーンテーマに応じた施設整備



### 活性化に向けた取組

#### 教育プログラムの策定

- ・これまでの取組の体系的見直し
- ・全ての世代の人々に、常に感動を与えるプログラムの策定

#### 市民との共汗でつくる動物園

- ・周辺地域や支援団体、ボランティア等と連携した活動拠点づくり
- ・活性化の継続に向けた事業やイベントの推進
- ・資料公開の推進
- ・情報発信の推進

#### 新たな入園者の開拓

- ・全ての人々に愛される動物園づくり
- ・修学旅行の誘致
- ・観光客の誘致

#### サービスの向上

- ・全ての施設利用者に配慮した施設づくり
- ・顧客満足度（CS）の高いサービスの提供

## 基本テーマ【Life いのち】

## いのちの尊さ、いのちのつながり

- 動物とのふれあい体験を通じて、いのちの尊さを伝える
- ヒトとの関わりのなかで生きてきた家畜や愛玩動物との関係や歴史が学べる場を提供する
- 見て、触れて、感じることでできる展示に取り組み、子どもから大人まで楽しみながら学べる場とする



ふれあい広場「あとの国」整備事業 \*ゾーン面積：約2700㎡

## 基本テーマ【Diversity 多様性】

## いろいろな違いを発見しよう

- 大型から小型のネコ科動物の展示を通して、生物の多様性を学ぶ
- 動物福祉の立場から環境エンリッチメントに取り組み、生き生きとした動物の姿を伝える
- 生息地の現況を伝えるとともに、生息地における保全活動と連携した活動に取り組み



ネコワールド整備事業 \*ゾーン面積：約1200㎡

## 展示テーマ【Watch 観察】

## からだのつくりをくらべてみよう

- アフリカのサバンナで暮らしている大型草食獣、鳥類の混合飼育を行う
- サバンナに住む動物たちの環境に適応したからだのつくりや、生活様式の違いがわかるよう展示する
- 観覧用木道（陸橋）を設置し、給餌体験やキリンの目線で観察ができる施設とする。
- キリンの塔を移設し、キリンの視界を再現するカメラを設置することで、その見え方を疑似体験できる。



アフリカの草原整備事業 \*ゾーン面積：約4500㎡

## 展示テーマ【Evolution 進化】

## 同じ祖先を持つ仲間たちとの出会い

- 原始的なサルからヒト科に属する大型類人猿3属にいたるまで、多様な霊長類を集合展示する
- ヒト科との形態的な違いや、知的能力の度合いなども含めた比較展示を行う
- 京都大学野生動物研究センターとの連携による、チンパンジーの知性研究の様子、フィールドワーク等の最先端の研究成果や、保全活動の様子を掲示する



サルワールド整備事業 \*ゾーン面積：約4900㎡

## 基本的テーマ【Discovery 発見】

## 豊かな森を感じてみよう

- 京都の豊かな自然を伝え、ヒトと野生動物の関わりが学べる展示とする
- 身近な自然に関する情報を展示・提供し、地域の自然環境保全に貢献できる施設とする
- 希少淡水魚類の保全・繁殖を行う



京都の森整備事業 \*ゾーン面積：約5600㎡

## 展示テーマ【Wonderful/Great 驚き】

## 知性と大きさに感動

- アジアにおける使役動物としてのゾウの歴史を紹介するとともに、動物園で健康管理のために行うトレーニングを通して、その知性が感じられる展示とする
- アジアゾウの群れ飼育が可能な施設を整備し、繁殖を目指す
- は虫類館を整備し、夜行性獣・は虫類を展示する



ゾウの森整備事業 \*ゾーン面積：約6500㎡

- 教育機関や大学等の研究機関と連携し、教育及び研究活動を推進するための施設を整備する
- 楽しみながら学ぶための情報発信機能を備えた施設を整備する
- 京都の自然への導入口として、地域環境や野生動物の現状を伝えられる施設を整備する

施設整備：展示室、多目的ホール・会議室、動物図書館・どうぶつえほん館、ZOOカフェなど  
教育・管理施設整備事業 \*ゾーン面積：約2600㎡

\*イラストは全てイメージ図

## ZOOスポット 67

40年間お世話になりました！

今回は、この3月で動物園を退職する成田正行飼育第3係長にスポットをあててみました。

中学生の頃、友達から傷ついた雄の伝書鳩を譲ってもらい、治療したことがきっかけで飼育を始めました。当時は伝書鳩ブームで、数羽を購入し繁殖させ飼っていた鳩が約60羽程いました。しかし、飼育代が無く自分の鳩を売却したことは、苦い思い出として残っています。その私が、動物園の飼育員になるなんて思いもしていませんでした。

新人として、先輩飼育員のもと各動物の飼育を体験した後、初めて担当したのが「おとぎの国」でした。当時、おとぎの国の周りは金網で囲われあり、開園中はヤギを放し飼いにしていました。外からお客さんが、紙やお菓子など与えていました。お菓子袋は、胃の中で消化しないと先輩に言われ、お菓子袋の回収中、桜の木で頭部を強打し、うずくまっていた思い出があります。

当時は宿直もあり、夜間の巡回時クジャクの鳴き声で、恐る恐る回ったこともありました。夜間開園、人工哺乳（ヒョウやジャガー）なども体験しました。また国際交流として、カバ2頭とダ

チョウ2頭を中国上海港まで、船酔いしながら運搬したことも思い出です。上海港から西安動物園まで無事に到着するのを確認したことが、頭の中に残っています。

いろいろな動物の飼育を経験し、現在は調理室を担当しています。調理室での作業は、釜にサツマイモ・ニンジン・卵を入れ茹でたり、冷凍アジの解凍や冷凍馬肉を自然解凍し、根菜野菜・冷凍食品・固形飼料などの管理や、業者受注に伝票整理を行っています。また、飼育員がスムーズに作業できるよう、常に清潔・清掃を心掛けています。

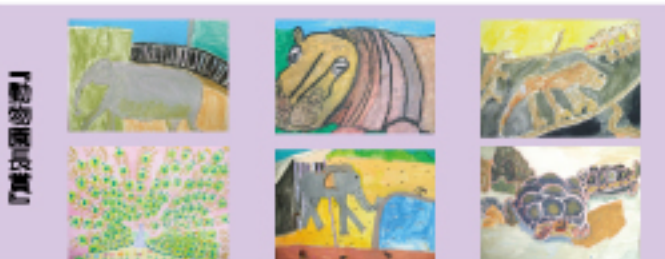


来園者の方や、職員みんなのお陰で無事定年を迎えられることに感謝しています。

今までありがとうございました。

## 第36回 小学生動物画コンクール ～表彰式～

小学生による応募作品307点の中から、市長賞・教育長賞・動物園長賞を各6作品、入選18作品を選定し、表彰式を行いました。



### 【入選】



定期購読を希望される方は、80円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより No.151

発行所 京都市動物園

京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 TEL075(771)0210